

事務局たより

第 8 号 2017 年 1 月 22 日 chyda-kr@f8.dion.ne.jp

◇事務局 101-0061 千代田区三崎町 2-19-8 杉山ビル 2F
千代田区労協気付 T:03-3264-2905 F:03-6272-5263

共謀罪は国民弾圧凶暴装置だ！

宮澤・レーン・スパイ冤罪事件を繰り返させてはならない



**安倍政権の
暴走を止めよう！**
1.20 国会開会日行動

「日本国民は、恒久の平和を念願し、人間相互の関係を支配する崇高な理想を深く自覚するのであって、平和を愛する諸国民の公正と信義を信頼して、われらの安全と生存を保持しようと決意した。われらは、平和を維持し、専制と隷従、圧迫と偏狭を地上から永遠に除去しようと努めてみる国際社会において、名誉ある地位を占めたいと思ふ。われらは、全世界の国民が、ひとしく恐怖と欠乏から免かれ、平和のうちに生存する権利を有することを確認する」――。

憲法前文を読み直してみると、秘密保護法、戦争法を強行成立させ、いままた、共謀罪なるものを企図している安倍政権と与党は、いかに憲法を敵視しているかが浮き彫りになってくる。

彼らには、国民を信頼するという思考はまったくな

い。国民とともに、国民のための政治を進めていこうとする姿勢はゼロだ。そして制定から 70 年を経たいま、戦争放棄こそが真の世界平和への道であることを指し示している憲法こそを根底から壊そうとしている。共謀罪は憲法の下で平和に生きることを願っている国民弾圧のための凶器だ。かつて北海道で引き起こされた「宮澤・レーン・スパイ冤罪事件」の真相を知ったわれわれは、再び国民を無残な弾圧に晒すことになる共謀罪を、断固粉碎しなければならないと思う。

(福島 清)

写真は、第 193 回通常国会が開会した 1 月 20 日、寒風の中、国会議員会館前で開催された「安倍政権の暴走を止めよう！ 国会開会日行動」。「安倍政権打倒」の決意を胸に 600 人が結集した。



国会開会日行動に続いて、参議院議員会館講堂で「秘密保護法、戦争法と一体・話し合うことが罪になるー共謀罪の国会提出を許さない1・20院内集会」が開かれ、満員の参加者で、熱気が溢れた。「秘密保護法」廃止へ！実行委員会／解釈で憲法9条を壊すな！実行委員会／日本マスコミ文化情報労組会議（MIC）／盗聴法廃止ネットワークが共催した。

主催者代表の高田健さんは、「日本は明治以来 150年というが、その前半の70～80年は戦争の連続だった。しかし平和憲法制定以来の70年間、日本は戦争をしていない。安倍は戦争法をフルスペックにするために必要な法整備をこり押ししようとしている。韓国を見よ。昨年韓国の民主勢力は選挙で多数をとり、朴政権を追い詰めている。韓国の民衆に連帯して安倍を倒すこと以外に解決の道はない。そのためには、①選挙で勝つこと。②勝つためには安倍打倒の運動を作ること。それは立憲野党4党と市民の共闘しかないのだ」と気迫

を含めて訴えた。

政府はここにきて、共謀罪は「一般の方々が対象になることはあり得ない」などと言い始めている。「安倍さんは『下品』だ『嘘つき』だ『思い上がり』だ」（牧太郎・青い空白い雲、1.22 サンデー毎日）とまで言われている安倍政権の言、信用できるわけがない。

かつて宮澤弘幸をスパイに陥れた軍機保護法制定時、政府・軍部は「故意犯だけを罰する」といい、議会は「（軍事秘密を）侵害する者のみに適用」と付帯決議した。しかしそれらはいとも簡単に踏みにじられたという厳然とした事実がある。戦争への道に狂奔する安倍政権がその道を歩まないという保障はない。

秘密保護法、戦争法、そして共謀罪――。憲法が保障している平和に生きる権利、誠実に生きようとする願いが、残酷に踏みにじられようとしている。

声を上げたい。できる行動を積み重ねていきたい。

（福島 清）





首都東京の中心・千代田区では、民進党、共産党、千代田区労協などが「戦争させない千代田の会」を結成して、戦争法反対行動を続けている。2017年初の第17次行動は、1月19日夕刻、神田・神保町交差点に40人が結集して、「憲法違反の安保法制（戦争法）は廃止しかありません」と訴えた。「真相を広める会」ものぼりをたてて、宮澤・レーン・スパイ免罪事件を訴えるリーフを宣伝した。（水久保文明）



「戦争させない・9条壊すな！総がかり行動委員会」主催「毎月19日行動」の2017年最初の行動は、19日国会議員会館前で開かれ、3000人が結集した。「安倍政権の暴走止めよう！」「南スーダンへの自衛隊派遣反対！」のコールが寒風の空へ響き渡った。（福島 清）

守れ、生かせ/
憲法

